

緑の将来計画（地区の基本方針）

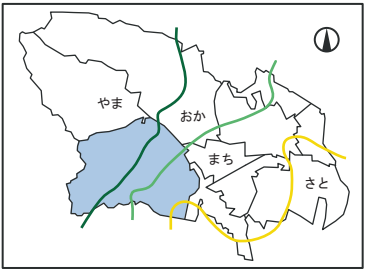
○県立自然公園を中心に「やま」の緑を保全します

- ・県立丹沢大山自然公園の指定を継続し、森林を保全していきます。また、周辺に広がる保安林等の保全に努めていきます。
- ・水源かん養や土砂災害防止などの機能を向上させるよう、森林整備を推進していきます。
- ・聖峰等において、散策路として登山道や林道、史跡などの文化財等を取り込んだネットワーク形成を図り、森林浴やウォーキングを楽しむ、自然とのふれあいの路を充実させていきます。

「やま」ゾーンの配置方針：森林の総量の保全
「やま」ゾーンの配置方針：山と緑とのふれあいネットワークの充実

比々多地区計画図

やまゾーン・おかゾーン・まちゾーン
さとゾーン・鈴川ベルト



○身近な都市環境を支える緑の保全・育成を図ります

- ・「やま」の緑から連なる樹林地や集落地周辺の樹林地、農地などを保全していきます。
- ・河川や農業用水路などについては、多自然整備を進め、親水性を向上させ水辺の自然とのふれあいの場の保全・育成に努めます。また、栗原川上流域におけるホタルの生息地の保全に努めていきます。
- ・比々多神社、白根神社、雷電神社の境内林など、地域ゆかりの緑を保全・育成していきます。
- ・国道246号バイパス（厚木秦野道路）整備にあたっては、沿道緑化を推進し自然環境に配慮した緑の復元を図ります。
- ・市街化区域内農地の生産緑地地区指定を推進していきます。また、市民農園などの活用方策を検討していきます。
- ・三ノ宮地区に広がる果樹園や地区南側に広がる市街化調整区域の良好な農地を保全します。

「おか」ゾーンの配置方針：里山環境を構成する緑の保全・育成
「おか」ゾーンの配置方針：里山環境を構成する緑の保全・育成
「おか」ゾーンの配置方針：里山環境と調和する新たな緑地軸の形成
「さと」ゾーンの配置方針：農地とのふれあい空間形成

○県立いせはら塔の山緑地公園など公園の整備・改善を進めます

- ・県立いせはら塔の山緑地公園整備を推進していきます。また、フィールドミュージアムとして自然環境と共生する公園整備を進めるとともに、周辺環境や散策路等の拠点となるネットワークづくりを図ります。
- ・坂東公園や谷戸岡公園など地区内の公園について、地域特性や利用状況等を考慮した、公園の計画的な改良・改善に努めていきます。特に、近接する街区公園については、それぞれの役割を明確にし、個性ある公園づくりを目指していきます。
- ・終末処理場周辺地域の環境改善効果や緑地環境の向上及び公園機能の充実に向け、新たな都市公園を配置するとともに、「さと」への緑の結節機能の強化を図ります。

「おか」ゾーンの配置方針：自然と結びついた大規模な公園の整備
「まち」ゾーンの配置方針：住区基幹公園の整備・改善
「鈴川」ベルトの配置方針：緑の結節機能の強化

○緑豊かな市街地を形成していきます

- ・国道246号、都市計画道路田中笠窪線など、まちの骨格となる主要な道路については、街路樹や植樹帯の整備、プランターや花壇の設置等、道路環境に応じた緑化に努め、緑のネットワークの軸を形成していきます。また、沿道の未利用地や道路余地等を活用し、憩いの場としての緑地やポケットパーク等の設置を検討します。
- ・国、県管理道路等においては、沿道緑化等への配慮を求めています。
- ・比々多小学校の周辺や通学路などについて、道路環境に応じた緑化を推進していきます。また、学校ビオトープなど校庭緑化を図ります。
- ・住宅や事業所の沿道部分などの民有地や公共公益施設の緑化を推進します。
- ・市街地において、街角花壇等の設置や緑の保全を推進していきます。

「まち」ゾーンの配置方針：「おか」や「さと」に連なる緑のプロムナードの形成
「まち」ゾーンの配置方針：緑豊かな街角形成
「まち」ゾーンの配置方針：民有地の緑化誘導

○鈴川と鈴川工業団地の緑の育成を図ります

- ・鈴川工業団地内の緑化を推進します。
- ・鈴川公園と市ノ坪公園は、総合的機能を持った一体的公園として、相互連携による機能分担と防災機能の向上が図られるよう、計画的な改良・改善を行うとともに、豊かな緑の創出を図ります。
- ・鈴川の河川改修整備にあたっては、管理用通路を利用した散策路の位置付け、親水整備や多自然整備に努めるなど、水辺とのふれあい空間形成のための配慮を求めています。

「鈴川」ベルトの配置方針：緑の結節機能の強化
「鈴川」ベルトの配置方針：「鈴川」水辺の回廊の形成



凡例

	主要な子どもの遊び場		条例等による緑		既設公園の改良・改善		水環境の整備
	公園		主要道路		農地の保全		河川環境の整備
	公共施設緑地		河川・水路		特別緑地保全地区の指定・市民緑地の設置の推進		県立いせはら塔の山緑地公園の整備
	民間施設緑地		市街化区域界		国道246号バイパス（厚木秦野道路）の緑化		都市公園の整備
	生産緑地地区		地区界		街路樹等のネットワークによる緑の軸		インターチェンジ周辺等の緑化
	農地		広域避難場所		自然とのふれあいの路の整備		境内林及び周辺樹林地の保全
	保安林等				里山とのふれあいと体験の場の整備		緑化重点地区の設定
							教育施設の緑化

注釈：主要な子どもの遊び場は、小学生へのアンケート結果から、地区内で多く利用されている遊び場を抽出しています。

主要な緑	面積 (ha)	
	市街化区域	都市計画区域
都市公園等	6.5	39.6
公共施設緑地	5.0	7.3
民間施設緑地	7.0	12.0
樹林地	0.0	369.3
生産緑地	5.4	5.4
河川	3.0	4.2
合計	26.9	437.8
増減率 (%)	+54.6	+11.0

※現況面積に対する増減率